



北陸銀行の創業

北陸銀行は、加賀前田家の出資を受け、加賀藩祖「前田利家」ゆかりの銀行として創業されました。

- 1877年8月 金沢第十二国立銀行開業(創業)
- 1879年2月 富山第百二十三国立銀行開業
- 1943年7月 十二・高岡・中越・富山の前身4行合併により「株式会社北陸銀行」設立
- 1950年1月 外国為替業務開始(地銀初)
- 1961年9月 東京証券取引所に上場



北海道銀行の設立

北海道銀行は、戦後復興期、新興産業の勃興と人口の急増に伴う旺盛な資金需要に応えるべく、道内中小企業者の強い要望により設立されました。

- 1951年3月 「株式会社北海道銀行」設立
- 1961年4月 外国為替業務開始
- 1962年5月 札幌証券取引所に上場
- 1987年9月 東京証券取引所一部に上場

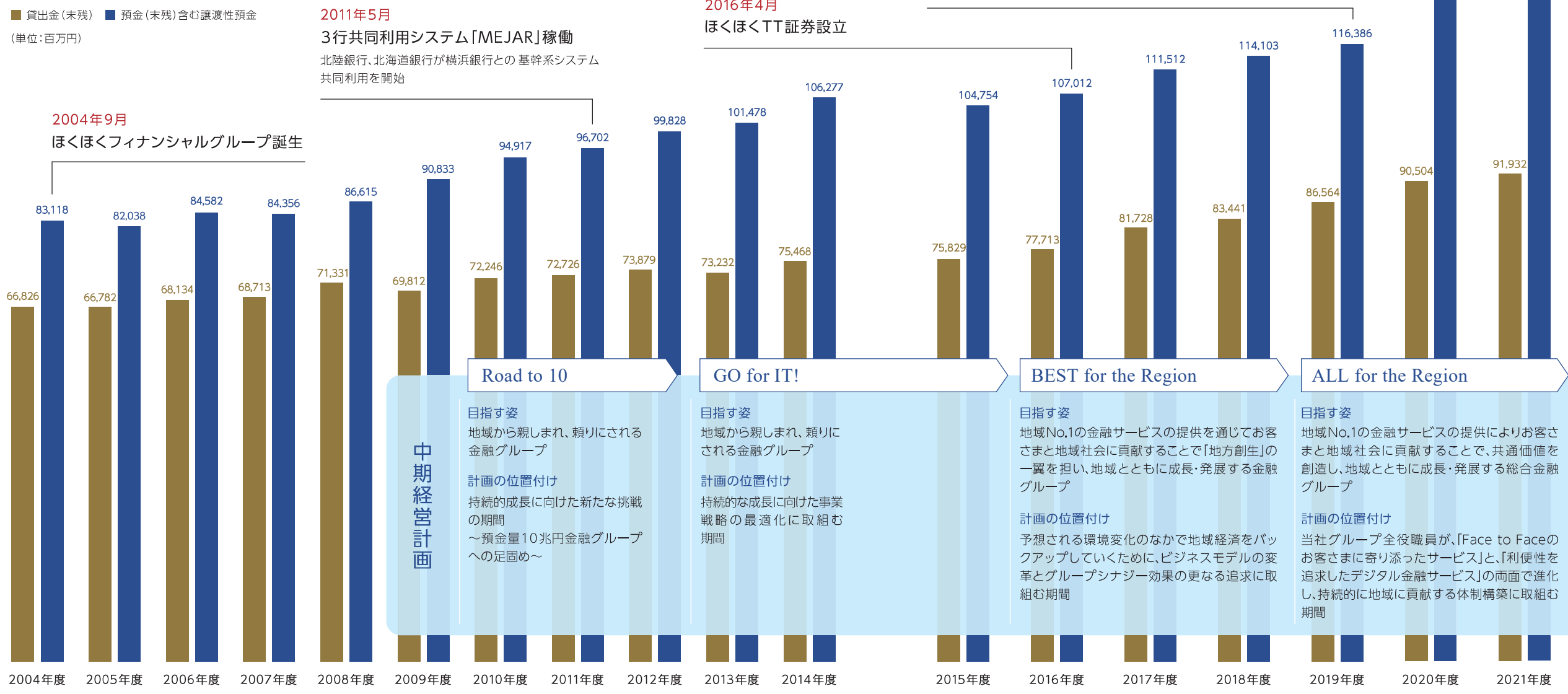
地域金融として初の広域地域金融グループとなるほくほくフィナンシャルグループを設立
依然金融機関にとって厳しい環境が続く中、2004年9月に経営資源をより有効に活用する経営の効率化、広域ネットワークを活用した営業力の強化および経営基盤の安定化を目指し、北陸銀行・北海道銀行が経営統合し、2行を中心としたほくほくフィナンシャルグループが誕生いたしました。



ほくほくフィナンシャルグループの歩み

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸・北海道に基盤を置く地域金融機関として、長らく地域とお客さまの繁栄に貢献してきました。
今後とも地域とともに成長・発展することで、共有価値を創造してまいります。

- 2020年6月 環境省が実施する「令和2年度ESG地域金融促進事業」の支援先機関として採択
- 2021年2月 「ほくほくフィナンシャルグループ環境方針」の制定
「TCFD」提言への賛同
- 2021年3月 北海道銀行 設立70周年
- 2021年7月 「特定事業等にかかる投融資ポリシー」の制定
「CO₂排出削減目標」の引き上げ
- 2021年11月 「サステナビリティ推進委員会」の新設
「サステナブル関連投融資目標」の設定
- 2019年4月 「ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言」を表明し、
「CSR活動における取組み重点テーマ」を制定



2011年5月
3行共同利用システム「MEJAR」稼働
北陸銀行、北海道銀行が横浜銀行との基幹システム共同利用を開始

2016年4月
ほくほくTT証券設立

2004年9月
ほくほくフィナンシャルグループ誕生

中期経営計画

Road to 10

目指す姿
地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ

計画の位置付け
持続的成長に向けた新たな挑戦の期間
～預金量10兆円金融グループへの足固め～

GO for IT!

目指す姿
地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ

計画の位置付け
持続的な成長に向けた事業戦略の最適化に取り組む期間

BEST for the Region

目指す姿
地域No.1の金融サービスの提供を通じてお客さまと地域社会に貢献することで「地方創生」の一翼を担い、地域とともに成長・発展する金融グループ

計画の位置付け
予想される環境変化のなかで地域経済をバックアップしていくために、ビジネスモデルの変革とグループシナジー効果の更なる追求に取り組む期間

ALL for the Region

目指す姿
地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、共通価値を創造し、地域とともに成長・発展する総合金融グループ

計画の位置付け
当社グループ全役職員が、「Face to Faceのお客さまに寄り添ったサービス」と、「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で進化し、持続的に地域に貢献する体制構築に取り組む期間

Go forward with Our Region

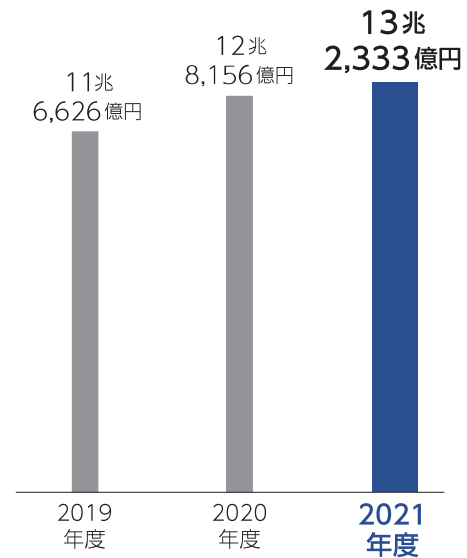
長期ビジョン
課題解決を通じて地域・お客さまとともに持続的成長を実現する

計画の位置付け
長期ビジョンの実現に向けて、コンサル対応力の向上やDXの推進等による生産性の向上に取り組むとともに、環境分野など新たな事業領域に挑戦する期間

預金・譲渡性預金期末残高(2行合算)

13兆2,333億円

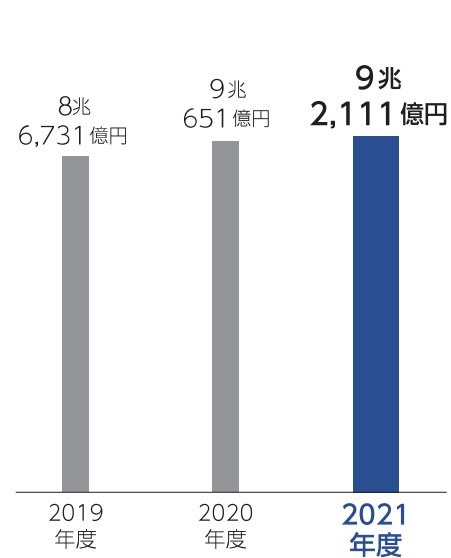
(前期末比4,177億円増加)



貸出金期末残高(2行合算)

9兆2,111億円

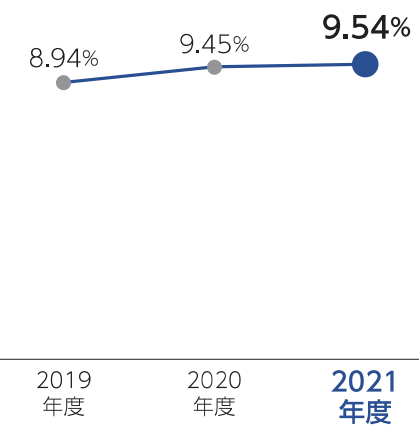
(前期末比1,459億円増加)



自己資本比率(連結)

9.54%

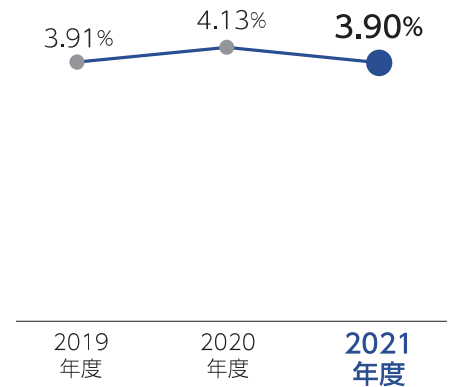
(前期末比0.09ポイント上昇)



自己資本利益率(ROE)(2行合算)
当期純利益ベース

3.90%

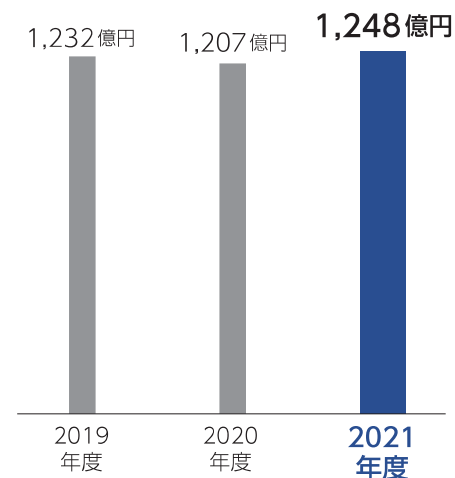
(前期比0.23ポイント低下)



コア業務粗利益(2行合算)

1,248億円

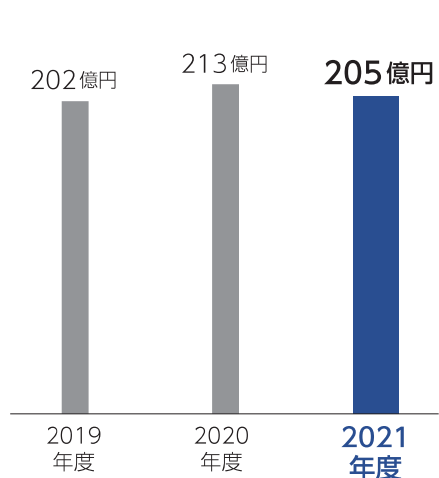
(前期比40億円増加)



親会社株主に帰属する当期純利益(連結)

205億円

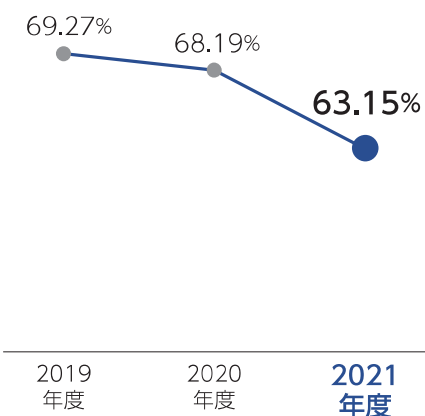
(前期比8億円減少)



OHR(2行合算)
コア業務粗利益ベース

63.15%

(前期比5.04ポイント低下)



格付の状況

格付会社 格付 取得企業

株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

R&I A 北陸銀行
(格付情報センター)

北海道銀行

S&P A- 北陸銀行

「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。当社、北陸銀行および北海道銀行はR&Iより「A」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ています。また、北陸銀行はS&Pより「A-」の格付も取得しています。

私たちの強み

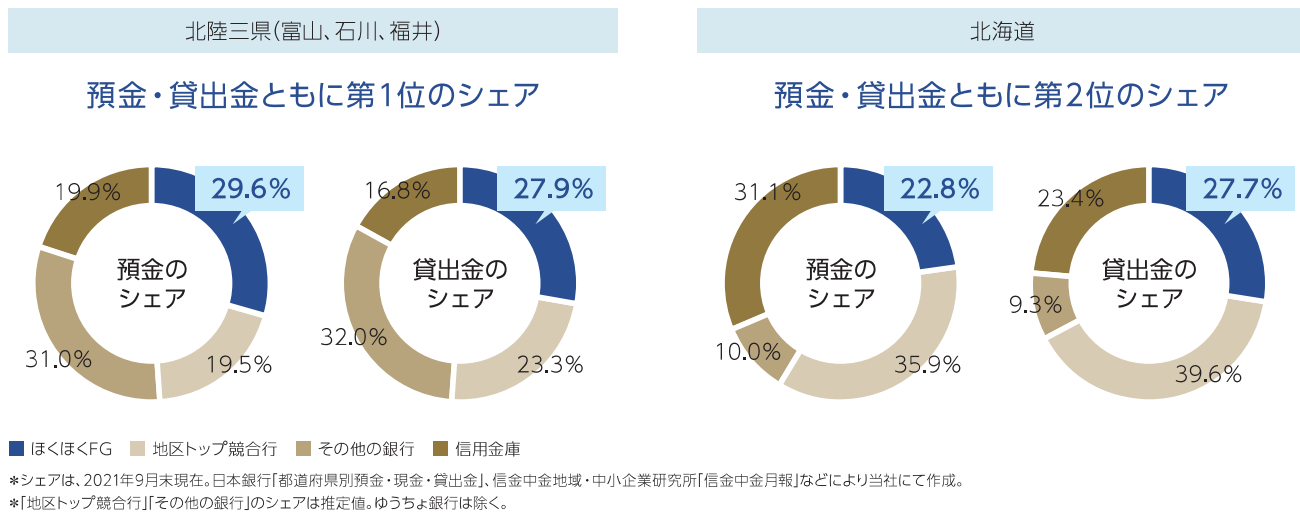
当社グループが培ってきた強みを活かし、地域社会へ貢献するとともに、

当社グループの持続的な成長を実現してまいります。



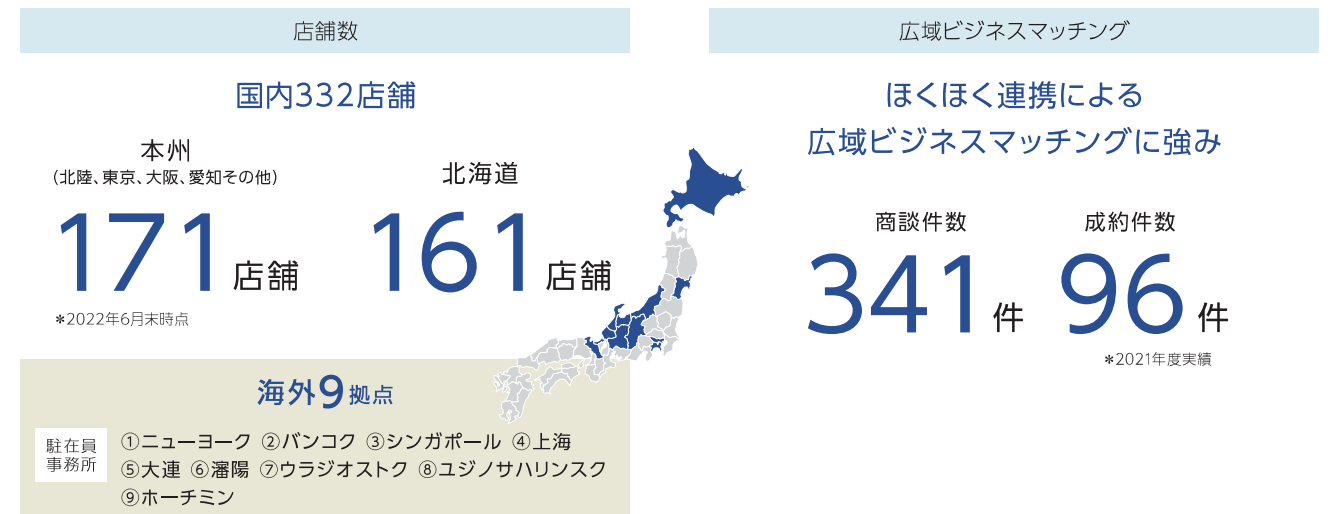
歴史に裏打ちされたお客さまとの「取引基盤」

- 1877年創業の北陸銀行と1951年設立の北海道銀行
- 2004年の経営統合から18年目
- プライムエリアである北陸・北海道を中心に数多くのお客さまにお取引いただき、長い歴史の中とともに歩み、成長してきた歴史



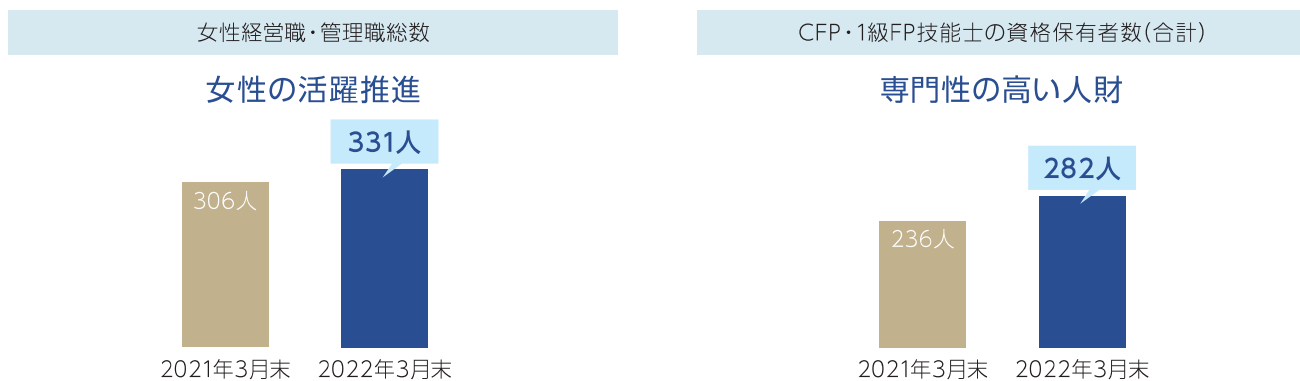
地銀グループでは類をみない「広域店舗網」

- 北陸、北海道、三大都市圏に広域店舗網を有し、海外にも9拠点を広く展開
- 広域のビジネスマッチング等の広域連携力
- 様々な営業形態の店舗への移行や営業時間の弾力化など店舗機能の最適化を実施



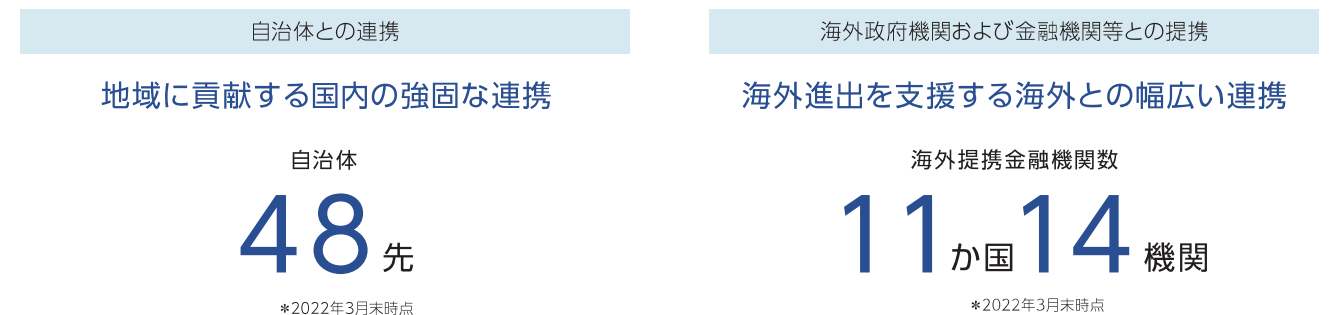
多彩な「人財」

- 北陸地域の特性と言われる勤勉さと北海道の開拓精神を持った「バラエティ豊かな人財」
- 積極的な女性登用とダイバーシティの推進
- 事業承継やM&A、農業関連業務、国際業務などの分野において、地方銀行トップクラスのノウハウを有する



地方自治体等との「パートナーシップ」

- 連携を通じて、地域のニーズと研究シーズとのマッチングや、地域のリテラシー向上に向けた教育を積極的に推進
- 海外販路拡大など、地元企業の海外進出を支援



地域のポテンシャル

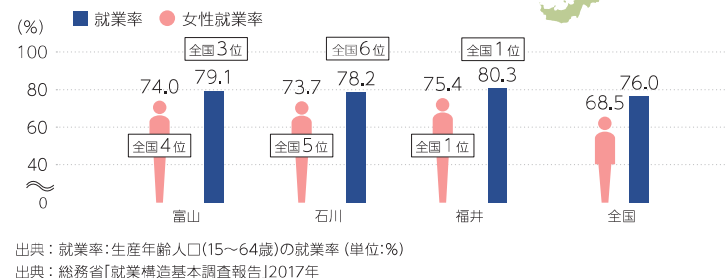
当社グループは、北陸3県と北海道を中心に広域展開しております。

それぞれの地域がもつポテンシャルを活かし、地域とともに発展してまいります。

北陸3県の地域特性

高い教育水準、勤勉な人財 女性が働きやすい環境

北陸3県は、全国学力テストでも常にトップクラスであり、高い教育水準と進学率を誇っています。さらに、三世帯同居で共稼ぎの家庭が多く、働く女性が多いのも特徴です。



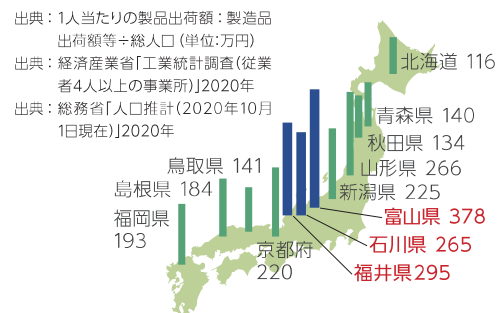
本州の中央に位置する北陸

三大都市圏からいずれも300km圏内に位置し、北陸新幹線開業で首都圏からの所要時間は2時間台となっています。2023年度末には北陸新幹線が敦賀駅まで延伸を控えており、ますます首都圏への往來の活性化が期待されます。



北陸は日本海側随一の工業圏

北陸3県は、立山連峰や白山からの雪解け水をはじめとし一年を通じて豊富な水資源があり、製造業を営む企業が多くあります。北陸3県の1人当たりの製品出荷額は日本海側で群を抜いており、多くのシェアトップ製品があります。



北海道の地域特性

良質な「食の北海道ブランド」

北海道特有の気象条件や地理的条件を背景に、多様な農山漁村が築かれ、特産物である魚や肉、豆麦類などを活かした多様な食文化があり、農業産出額や海面漁業・養殖業産出額は全国1位を誇ります。

農業産出額(上位5道県)	
道県	産出額(億円)
北海道	12,667
鹿児島	4,772
茨城	4,417
千葉	3,853
熊本	3,407

出典：農林水産省「令和2年 農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」

海面漁業・養殖業産出額(上位5道県)	
道県	産出額(億円)
北海道	2,020.84
長崎	892.57
愛媛	756.39
宮城	718.47
鹿児島	648.92

出典：農林水産省「令和2年 漁業産出額」

国民が最も行きたい観光地

北海道の雄大な自然、雪、温泉などの観光資源は、国内の旅行者のみならず、外国人旅行者からも人気が高く、観光地として優れた条件を備えています。



豊富で多様なエネルギー資源

北海道は、太陽光や風力、バイオマスなど「再生可能エネルギーの宝庫」であり、脱炭素社会への移行に向けて注目されています。近年、メガソーラーや風力発電、バイオマスエネルギーの活用施設の建設が相次いでいます。

《地域のポテンシャルをさらに強化するための当社グループの取組み》

令和3年度 富山県女性活躍推進「先進性」モデリングに第一号で認定

北陸銀行は、女性が活躍できる職場づくりと企業の成長を促すため、フェムテック^(注)関連製品やサービスを取り入れ、女性の健康課題の解決や緩和に向けた先進性のある取組みを試験的に行い、富山県全体としての女性活躍の推進につなげることを目的とした令和3年度富山県女性活躍推進「先進性」モデリング事業費補助金制度の交付金認定を第一号で受けました。本補助金を活用し、事業主として積極的に女性の健康課題に関与することで、女性の健康課題に対して理解のある職場環境づくりを進めています。今後も、企業の持続的な成長の実現には従業員の心身の健康が不可欠であるとの見地に立ち、従業員一人ひとりが自らの能力を最大限に発揮できる職場環境を整備し、組織全体の更なる活性化の実現およびSDGsの達成を目指すとともに、これらのことに率先して取組んでいくことで地域全体の女性活躍の推進に貢献してまいります。

(注) フェムテック(female technology)
女性特有の健康課題をテクノロジーで解決する製品やサービスのこと



《地域のポテンシャルをさらに強化するための当社グループの取組み》

令和3年度 地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」を受賞

北海道銀行は、北海道農産物の流通事業を行う「株式会社HAL GREEN(ハルグリーン)」への出資および経営支援を通じた北海道農産物の付加価値向上に向けた取組みが「特徴的な取組事例」として認定されました。今後も農業生産者の多様なニーズに対し、実践的なサポートを実施することで、農業経営の成長を促進し、北海道農産物の高付加価値化や地域経済の活性化に貢献してまいります。

